

水害発生時における避難時の心得

■非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備を
すると安心です。両手の空くりュックサックに非常持ち出し品を
準備しておきましょう。



- 携帯ラジオ □非常食 □水 □懐中電灯・電池 □衣類
- 生活用品 □救急薬品 □雨具 □ヘルメット □現金 □貴重品

■早めの避難を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。降雨や河川
水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難勧告
を待たずに自主的に避難を開始してください。



■やむなく浸水の中を歩かなければいけない時の注意

■はん濫水は濁っていますので、水
の中の障害物に注意しましょう。

■はん濫水は勢いが強いので、危
険です。



■避難先・避難ルート・避難方法を確認しましょう

浸水に対して安全な避難先とルートを平時から
家族や地域で確認しておきましょう。

また、自家用車での避難は、緊急自動車の通行を
妨げるとともに、交通渋滞に巻き込まれる可能性も
ありますので、やめましょう。



■ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態に合った時に危険
です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での
避難を心掛けましょう。

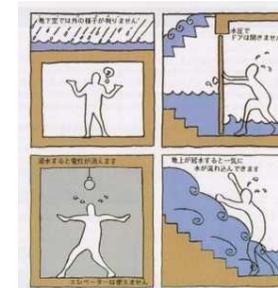


■避難所での注意

水害時に開設される避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在す
ることになります。大声を出したり、騒いだり他人が深いに感じるような言動
は控えましょう。互いの気遣いが大切です。

■地下街等にいる方は、浸水に注意しましょう

地下街等にいる方は、地上の状況を把握しにくかったり、避難経路が限定されたり、
地上が冠水すると一気に水が流れ込んできますので、浸水には注意しましょう



テレビ、ラジオやパソコン等から常に最新の気象情報を収集しましょう。



避難場所や安全な避難ルートを確認しましょう。



動きやすい格好で、荷物は最小限にしましょう



洪水氾濫は勢いが強い



洪水氾濫は、勢いが強く水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。
緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。

水面下は危険です



一人での避難は避け、近所で声をかけ合い避難しましょう。



水害に備えた避難時の心構え

懐中電灯、携帯ラジオ＋予備乾電池、非常食



ロープ、ちり紙(ティッシュ、トイレ用ペーパー)、ドライシャンプー、ローソク・マッチ



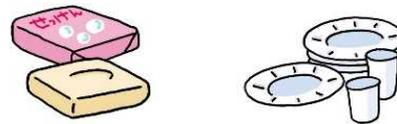
タオル、貴重品、救急セット(常備薬)、衣類・下着類



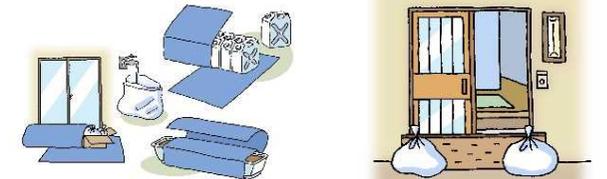
育児用品、ヘルメット、軍手、携帯ナイフ



石鹼、使い捨て食器



家庭でできる簡易水防



家のまわりを点検・整備を



家の前の排水溝が詰まっていないかの確認や風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵入を減少させることができます。大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、水の侵入口となるところに並べます。プランターをつなげて水の侵入口となるところに並べます。長めの板と土嚢で臨時的止水板を作ります。